

証券コード:6674

2008年7月4日



株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーション

決算説明会

2008年3月期

2007年度 連結業績の概要

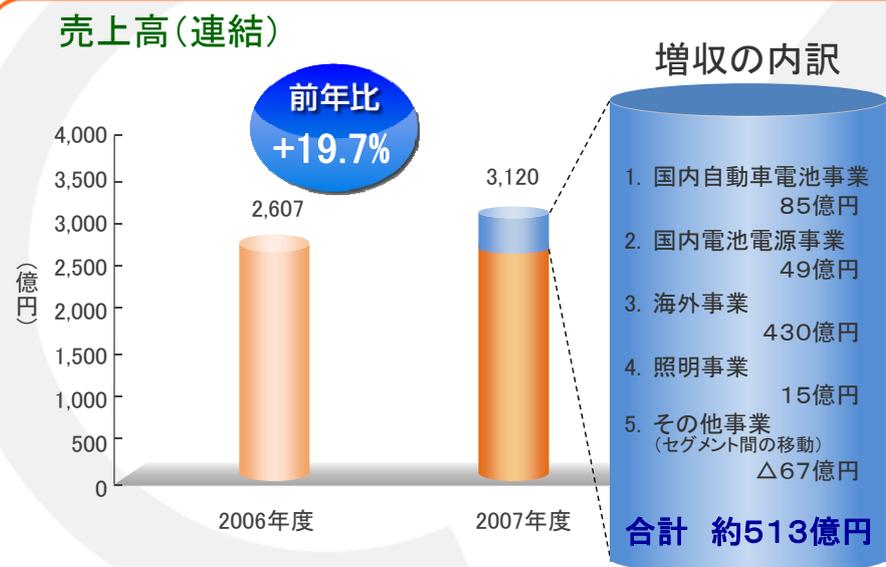
2008年度 業績見通し

2007年度 連結業績の概要

1. 決算の概要(P/L)
2. 事業セグメント別業績
3. 連結貸借対照表(B/S)

3

1. 決算の概要(P/L)

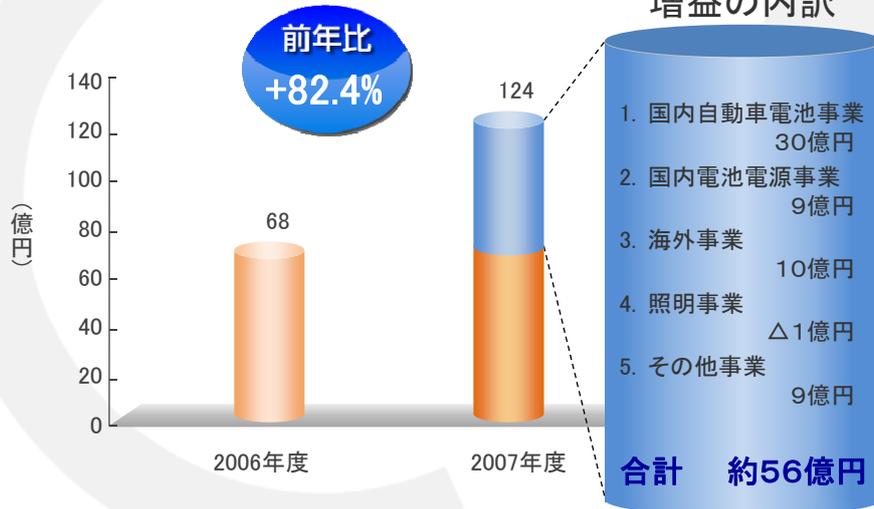


4

1. 決算の概要(P/L)



営業利益(連結)



5

1. 決算の概要(P/L)



経常利益(連結)

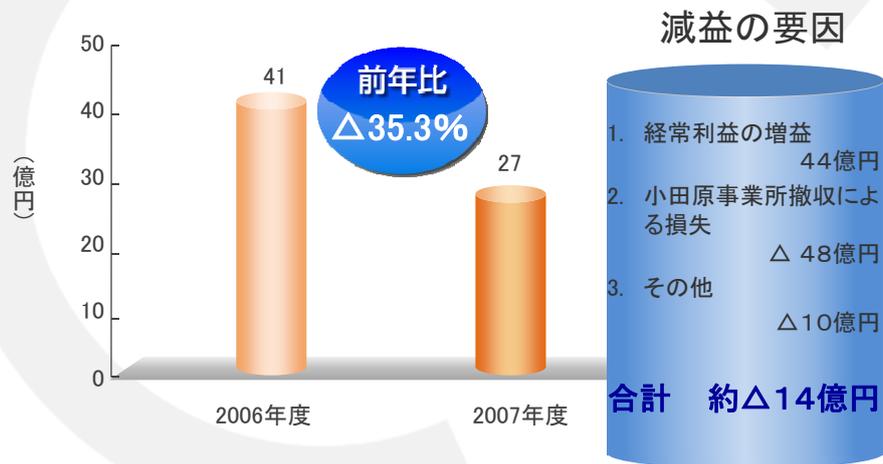


6

1. 決算の概要(P/L)



当期純利益(連結)



7

1. 決算の概要(P/L)



当期純利益(連結)

(単位: 億円)

	2006年度	2007年度	増減額
経常利益	55	99	44
特別利益	69 ^{*1}	11	△58
特別損失	93 ^{*2}	65 ^{*3}	△28
税前当期純利益	31	45	14
法人税等	△10	18	28
当期純利益	41	27	△14

*1 高槻事業所の売却益 (52億円)

*2 自動車電池の減損および先行除却 (43億円)

*3 小田原事業所の売却損等 (48億円)

8

2007年度 連結業績の概要

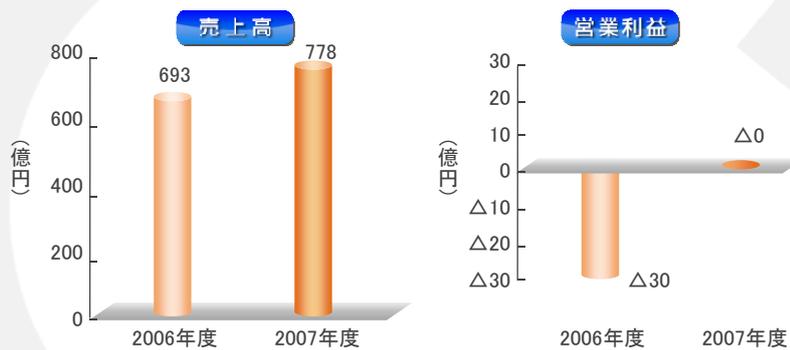
1. 決算の概要(P/L)
2. 事業セグメント別業績
3. 連結貸借対照表(B/S)

9

2. 事業セグメント別業績



国内自動車電池事業



増益要因

- 鉛高騰による価格改定 120億円
- 価格是正 10億円
- 合理化、経費削減 20億円

減益要因

- 鉛高騰による原価アップ Δ120億円

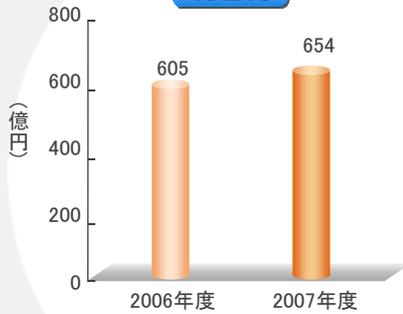
10

2. 事業セグメント別業績

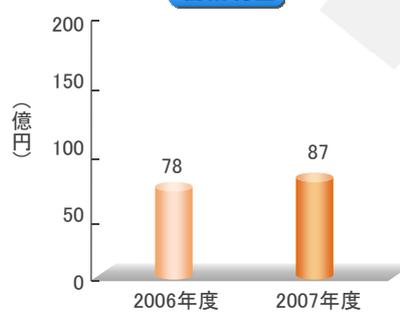


国内産業電池電源事業

売上高



営業利益



増益要因

- 鉛高騰による価格改定 40億円
- フォークリフト用電池の増販
通信分野向け電池電源の増販
合理化、経費削減 9億円

減益要因

- 鉛高騰による原価アップ Δ 40億円

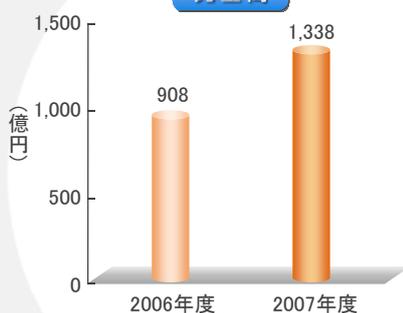
11

2. 事業セグメント別業績

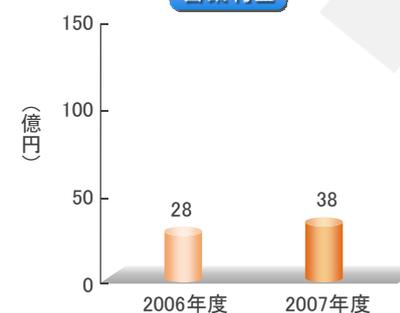


海外事業

売上高



営業利益



増益要因

- 鉛高騰による価格改定 260億円
- 増販効果 10億円

減益要因

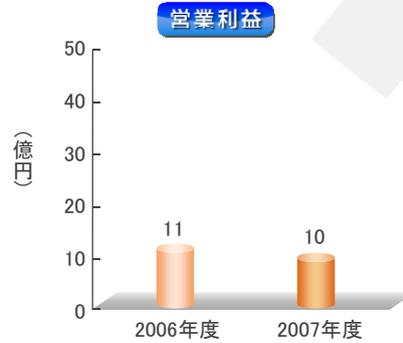
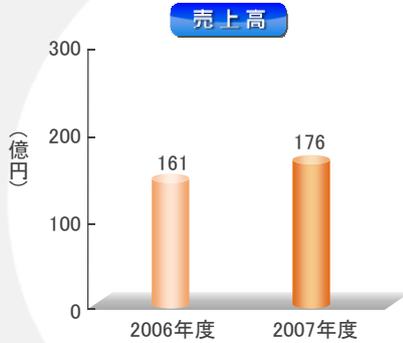
- 鉛高騰による原価アップ Δ 260億円

12

2. 事業セグメント別業績



照明事業



増益要因

- 紫外線応用装置の増販 3億円

減益要因

- 販売価格の下落 △4億円

13

2. 事業セグメント別業績



総括

———電池および電源———

(単位: 億円)

■ 売上高	国内自動車電池	国内産業用電池電源	海外	照明	その他	消去又は 全社	合計
	2007年度	778	654	1,338	176	174	
2006年度	693	605	908	161	241		2,607
増減額	85	49	430	15	△67		513
■ 営業利益	国内自動車電池	国内産業用電池電源	海外	照明	その他	消去又は 全社	合計
	2007年度	△0	87	38	10	5	△15
2006年度	△30	78	28	11	△4	△15	68
増減額	30	9	10	△1	9	0	56

■ 売上高構成比(2007年度)



■ 国内自動車電池 ■ 国内産業用電池電源 ■ 海外 ■ 照明 ■ その他

* 海外には、産業電池電源および照明の海外売上高を含む

14

2007年度 連結業績の概要

1. 決算の概要(P/L)
2. 事業セグメント別業績
3. 連結貸借対照表(B/S)

15

3. 連結貸借対照表(B/S)



資産・純資産・負債(連結)



主な増減要因

流動資産 :		負債 :	
売上債権	82億円	有利子負債	148億円
たな卸資産	145億円		
固定資産 :		純資産 :	
小田原拠点の土地・建物	△80億円	有価証券評価差額金	△38億円
上場株式の時価変化	△62億円		

16

3. 連結貸借対照表(B/S)

有利子負債

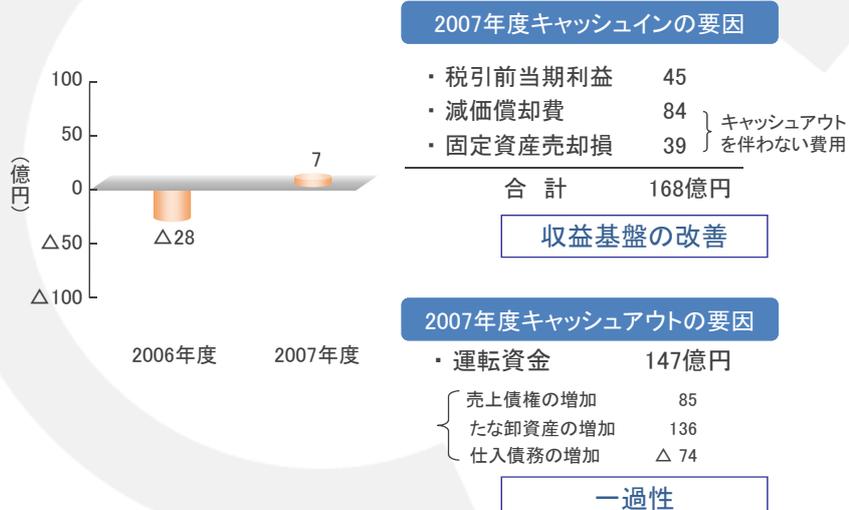


	2006年度末	2007年度末	増減額
短期借入金	504	704	200
コマーシャルペーパー	60	35	△25
社債	50	0	△50
長期借入金	287	310	23
有利子負債合計	901	1,049	148

17

3. 連結貸借対照表(B/S)

営業キャッシュフロー(連結)



18

2008年度 業績見通し

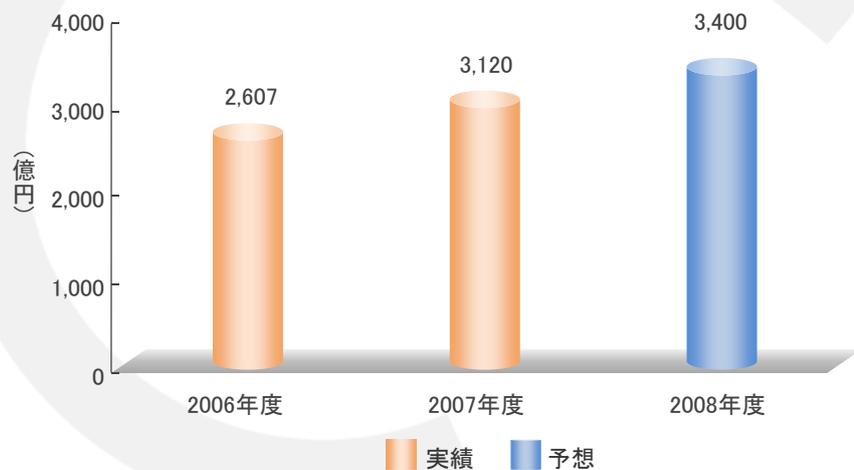
1. 連結業績予想
2. 事業環境の変化
3. 事業セグメント別業績予想

19

1. 2008年度 連結業績予想



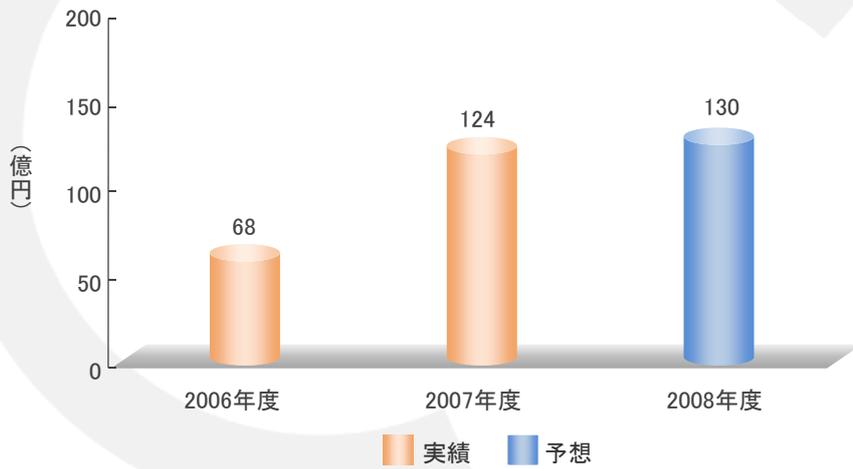
売上高



20

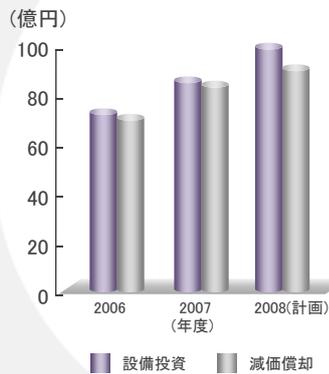
1. 2008年度 連結業績予想

営業利益

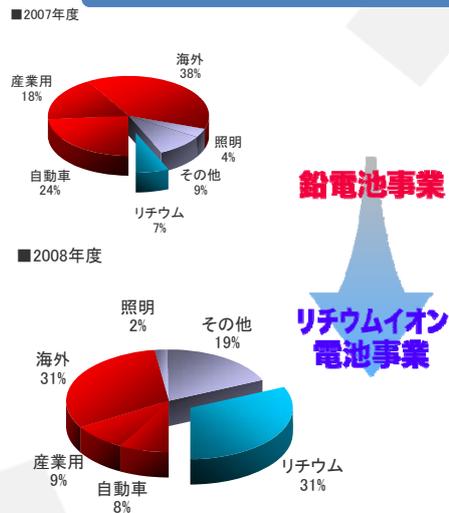


3. 連結貸借対照表(B/S)

設備投資



セグメント別投資構成比のシフト



1. 2008年度 連結業績予想



総括

(単位:億円)

	2007年	2008年度	
	実績	予想	前年比
売上高	3,120	3,400	109%
営業利益	124	130	105%
経常利益	99	120	121%
当期純利益	27	60	222%
1株当たり当期純利益	7.27円	16.34円	225%
1株当たり配当	5円	6円	-

23

2008年度 業績見通し

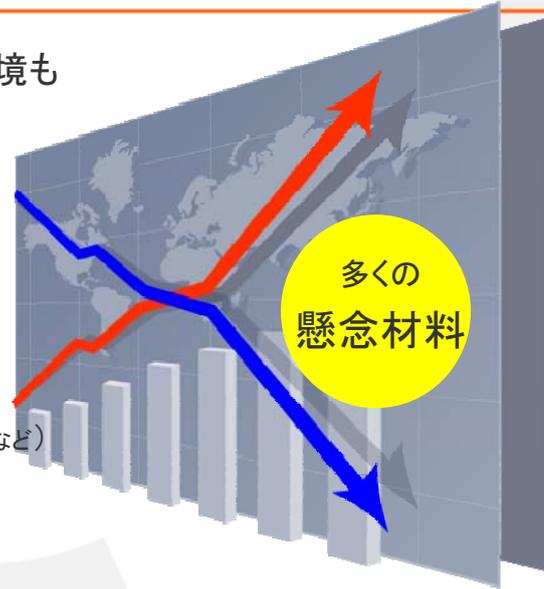
1. 連結業績予想
2. 事業環境の変化
3. 事業セグメント別業績予想

24

2. 事業環境の変化

2008年度の事業環境も
引続き不透明

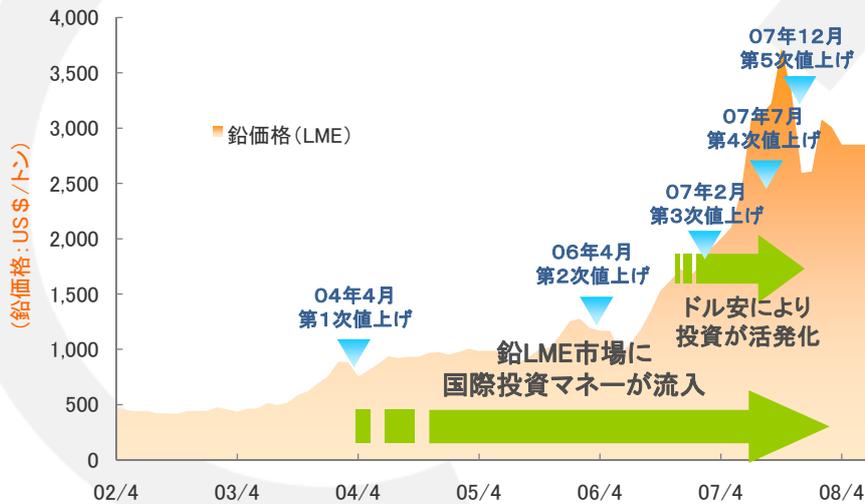
- ・ 世界の景気動向
- ・ 原材料価格
- ・ 原油価格
- ・ 為替の変動
(円、ドル、ユーロ など)
- ・ 国内需要の低迷



25

2. 事業環境の変化

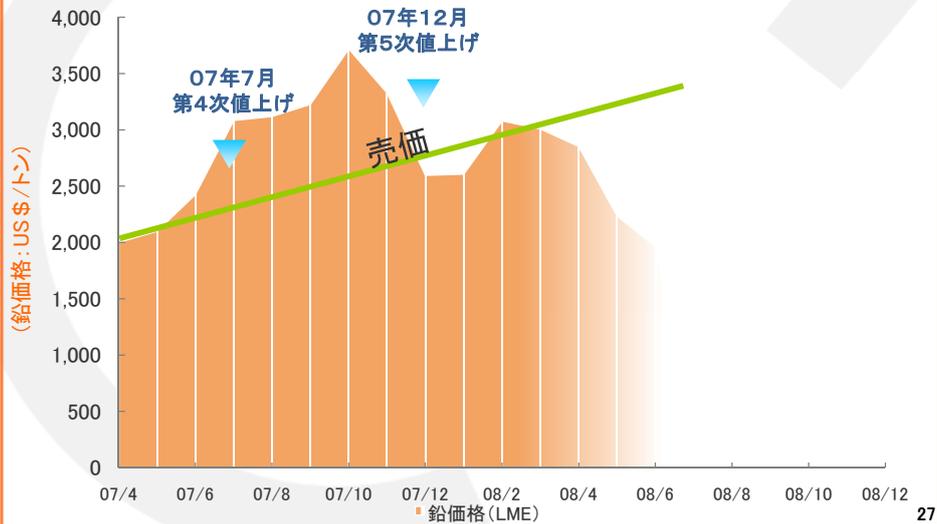
鉛価格の推移と対応策



26

2. 事業環境の変化

鉛価格の推移と対応策



2008年度 業績見通し

1. 連結業績予想
2. 事業環境の変化
3. 事業セグメント別業績予想

3. 事業セグメント別業績予想



総括

(単位:億円)

■ 売上高	電池および電源					消去又は 全社	合 計
	国内自動車 電池	国内産業用 電池電源	海 外	照 明	そ の 他		
2006年度	693	605	908	161	241		2,607
2007年度	778	654	1,338	176	174		3,120
2008年度	830	650	1,500	160	260		3,400

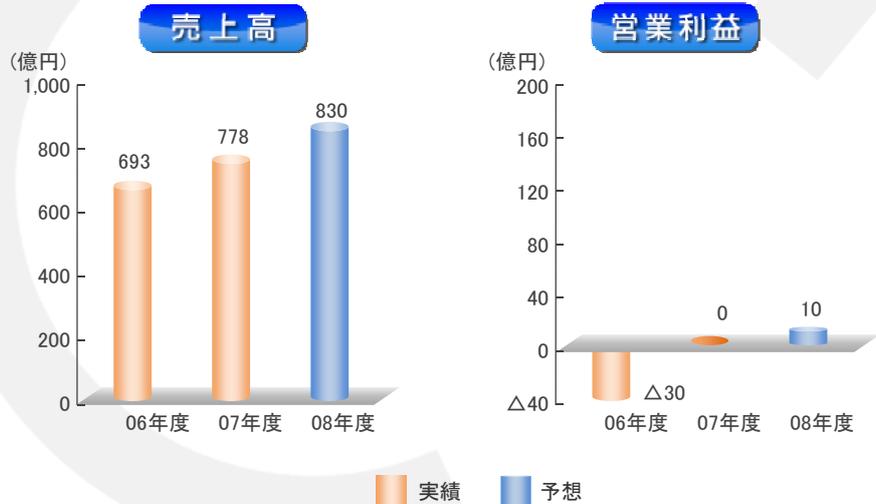
■ 営業利益	電池および電源					消去又は 全社	合 計
	国内自動車 電池	国内産業用 電池電源	海 外	照 明	そ の 他		
2006年度	△30	78	28	11	△4	△15	68
2007年度	△0	87	38	10	5	△15	124
2008年度	10	80	50	10	0	△20	130

29

3. 事業セグメント別業績予想



国内自動車電池事業



30

3. 事業セグメント別業績予想



国内自動車電池事業

2008年度の課題

- ・ 経営資源の再配置
 - － 生産能力の最適化と集中生産化、海外・成長分野への人員などのシフト
- ・ 生産合理化および経費削減の促進
 - － 生産効率の向上とローコスト電池の開発・販売
- ・ 適正売価の維持・拡大
 - － 鉛高騰へ対処する売価システム（鉛相場連動型）を市場へ浸透
 - － 低価格品・機種の価格是正
- ・ 自社ブランド品の浸透強化

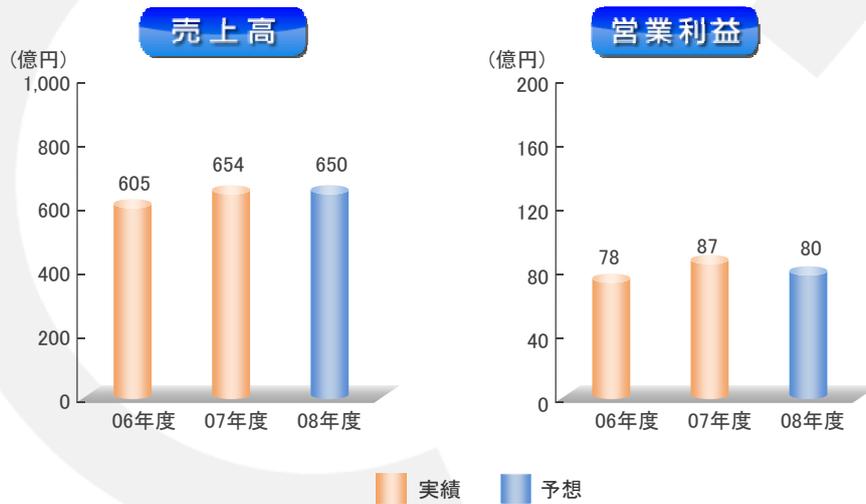


31

3. 事業セグメント別業績予想



国内産業用電池電源事業



32

3. 事業セグメント別業績予想



国内産業用電池電源事業

2008年度の課題

- ・ 高収益事業構造を確立し、強固なものとする
- ・ 情報通信、生活環境分野への新商品投入

■ 情報通信分野

携帯基地局
非常用電源



■ 生活環境分野

浄水管理システム用
バックアップ電源



- ・ 新エネルギー本部の設置

ーリチウムイオン電池・太陽電池関連の営業(国内外)

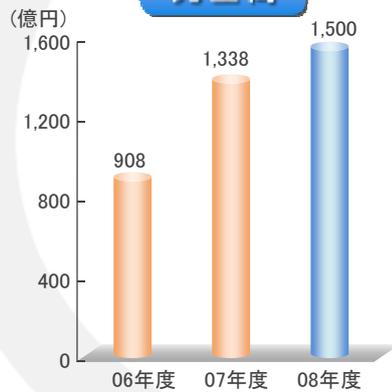
33

3. 事業セグメント別業績予想

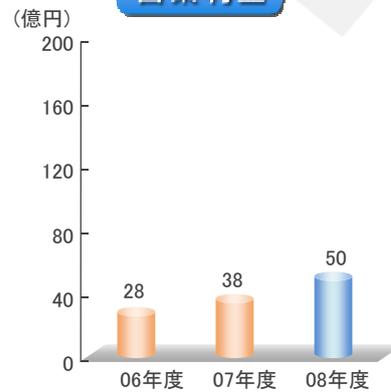


海外電池事業

売上高



営業利益



■ 実績 ■ 予想

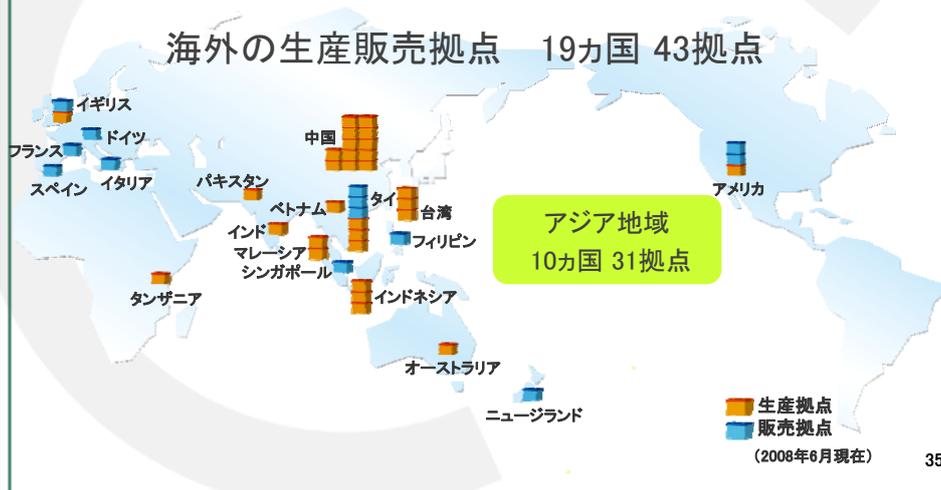
34

3. 事業セグメント別業績予想



海外事業戦略

アジアNo.1の地位を揺るぎないものにする



3. 事業セグメント別業績予想



海外事業戦略

海外セグメントの地域別業績

(単位: 億円)

	2006年		2007年		2008年	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
日本	262	16	295	7	280	5
アジア	404	13	684	16	860	30
欧米	298	△ 4	406	13	430	15
その他	134	0	166	5	180	5
消去又は全社	△ 190	3	△ 212	△ 4	△ 250	△ 5
合計	908	28	1,338	38	1,500	50

36

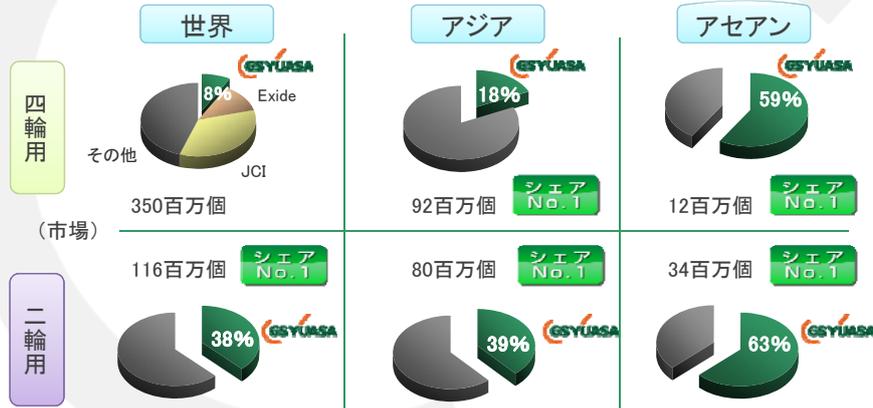
3. 事業セグメント別業績予想



海外事業戦略

グループの地域別シェア 2007年

出典: 当社調査



37

3. 事業セグメント別業績予想



海外事業戦略

2008年度の課題

自動車用電池

- 中国拠点: 生産量および販売の拡大
 - 四輪用電池の生産増強(広東省)
 - 二輪用電池の工場移転(天津市)
- インド拠点: 四輪用電池の生産規模の拡大
 - OEM納入・販売チャネルの拡大・強化
 - 販売促進PRを全域に展開



■ 天津湯浅蓄電池(二輪用)

フォークリフト用電池

- タイでフォークリフト用電池の会社を設立し、アジア・豪州市場でのシェア拡大を目指す



■ フォークリフト用電池の生産

38

3. 事業セグメント別業績予想



海外事業戦略 海外生産拠点での製品開発

日系車体メーカーの生産拠点：



GSユアサグループの取組み：



海外工場における技術開発力を強化し、
現地工場でも車体メーカーの要請にこた
えられる体制を作り上げる

39

3. 事業セグメント別業績予想



海外事業戦略 海外生産拠点での製品開発

地域のニーズにあった電池を現地工場にて開発

米国拠点：メンテナンス不要で高性能な電池

↓
二輪車用 次世代 VRLA電池

2008年8月より、Yuasa Battery, Inc. から
Honda America へ納入開始



GS YUASA GYZ20L-BS

1. 高容量
(同サイズ従来VRLA電池比11%アップ)
2. 低自己放電
3. 過放電放置性能アップ
4. 寿命性能アップ
5. 信頼性アップの設計構造

40

3. 事業セグメント別業績予想



海外事業戦略 海外生産拠点での製品開発

タイ拠点：安価で高温にも強く性能がよい電池



二輪車用 VRLA電池

Yuasa Battery(Thailand) P.C.L. から Thai Honda、Honda Philippine へ納入

2008年夏より、新品種YTZ4V を
新型オートバイ向けに納入開始



GS YUASA YTZ4V

1. 高容量
(従来より大幅アップ)
2. 自己放電特性向上
3. 信頼性向上

YTZシリーズ (VRLA電池)



3. 事業セグメント別業績予想



リチウムイオン電池事業

株式会社 リチウムエナジー ジャパン 設立

事業：大型リチウムイオン電池の開発・製造・販売

本社：京都市南区吉祥院(GSユアサ京都本社内)

出資金：40億円 (資本金20億円 2008年5月)

設立日：2007年12月12日

出資者：
(出資比率) 51% 三菱商事 34% 15%

■ 製品の販売先



顧客

自動車分野

国内外の
カーメーカー

産業用分野

鉄道
通信 メーカー
機械

3. 事業セグメント別業績予想



リチウムイオン電池事業

三菱自動車との i MiEV の計画

発売時期：
2010年までの市場投入を目指し開発中

販売目標：
初年度1,000台、以降年間2,000台以上、さらに……



リチウムエナジー ジャパンの計画

2008年度：試験稼働 → 量産準備完了

2009年度：電池納入開始
生産能力：20万個(2,000台分)

↓
：さらに……



43

3. 事業セグメント別業績予想



リチウムイオン電池事業

分野	用途	市場規模	シェア	90	95	00	05	製品
家電	携帯電話、PC、デジカメ							LP
特殊	人工衛星、宇宙・海洋							LSE
産業用	鉄道、通信、機械							LJM
	航空機		!					LVP
自動車	EV、HEV、PHEV		!					LEV、EH

● : 現在の市場 ● : 将来の市場

44

Next to you

エネルギー、環境社会での技術革新が進むなか、電池技術を通じて社会のニーズに応え、企業価値の最大化を追求します。

45

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があり、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

IRに関するお問い合わせ先

株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーション

京都市南区吉祥院西ノ庄猪之馬場町1

広報室 課長 山本 靖志

課長 谷川 浩一

TEL : 075-312-1214

46